



京都大学試験地（鉢窪）

昔は市有林で、中央の高い山に幅5mぐらいの長い火道があり、火道の東側は旧徳山中学校の植林地であった。

昭和41年、西緑地公園（万葉の森）が造られたが、この一帯が京都大学の試験地であったので、市有林と交換された。総面積は41.85畝あり、多くの樹木が植えられており、みごとな桜並木や鶏石（天狗岩）がある。

幸の台

金剛山の東部山腹に幸の台という、市内を一望できる住宅地が造成され、住宅が多数建てられている。

この住宅地から山の頂上の広場までに、桜2,000本、さざんか300本、梅100本、もみじ200本、れんぎょう100本、きょうちくとう300本、つつじ35,000本が植えてあり、桜の季節には見事な景観である。

土地は、ここに住んでいる福谷正夫氏の所有で、立看板に自然を愛し、山を愛し、花を愛する人のみ歓迎しますと書いてある。

